

線射技



世界のある地域に大量の難民が発生したとする。国際NGOがいち早く現地に入る。国連は難民高等弁務官事務所を通じてそのNGOと専属契約を結ぶ。プロジェクトの調整をし、緊急救援資金をそのNGOに配分する。

き残るには資金が必要だ。その資金を確実に得るためには、自家用機を使ってでも最初に現地入りしなくてはならないのだ。

誌発行の有無などの厳しい諸条件をクリアし、最終的には国連経済社会理事会NGO部会で審議のうえ決定される。

ないのかということだ。彼らは規模こそ小さいが、正確な情報を持ち、難民となった人々の言語にも風俗習慣にも精通している。

国際救援業？

遅れてやってきたNGOにはもう資金の配分がない。NGOが競って現地への一番乗りを試みるのは、単にヒューマニズムからだけではないのだ。

ができるというわけではない。実質的には国連でのNGO協議資格を有している団体に限られている。

NGOである。巨大なNGOが国連からの莫大な資金を得てさらに巨大になる。その巨体を満たすためにまた一番乗りをめざす、というのが国際緊急救援の裏側だ。

現地のニーズに合った活動をするには、現地をよりよく知る人たちの協力が欠かせないからだ。

組織として生



NGO協議資格を得るには、複数の国家に支部があり、活動歴、英文の機関

それは、国連はどうして現地国のNGOと連携し

（小林 米幸—AMDA・アジア医師連絡協議会日本副代表）